

支援を行っていきます

吉岡町犯罪被害者等支援条例が制定されました



犯罪被害に遭われた人やそのご家族を支援するための「吉岡町犯罪被害者等支援条例」が、4月1日から施行されました。これに伴い、町は警察署や公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんまと連携しながら、支援を行っています。

をご覧ください。
▼問い合わせ先
見舞金について
健康福祉課 福祉室
☎26・2246（直通）

各種相談など

茨川警察署
☎23・0110

公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんま
☎027・253・9991

見舞金支給

犯罪被害に遭われた人とそのご遺族に対し、見舞金を支給します。

遺族見舞金

▼支給額 30万円

▼対象

犯罪被害に遭われ、亡くなった人のご遺族

重傷病見舞金

▼支給額 10万円

▼対象

犯罪被害に遭われて重傷病を負った人

犯罪被害者等一時金

▼支給額 5万円

▼対象

遺族見舞金、重傷病見舞金の対象者

※詳しくは、町ホームページ



5月1日[※]から、申請は購入前に

高齢者の補聴器の購入を助成します



聴力の低下により日常生活に支障がある高齢者のコミュニケーションの手段を確保するため、新たに補聴器を購入する場合に要する費用の一部を助成します。

▼注意事項

●補聴器購入後の申請は対象外です。必ず購入前に申請してください。

●助成できる台数は1人1台に限ります。

●助聴器（集音器）は助成の対象外です。

●診察料、検査料、意見書作成料などは自己負担です。

●補聴器の修理、保守、電池交換および付属品のみは購入費用は助成の対象外です。

▼申請に必要なもの

□申請書

□耳鼻咽喉科専門医の意見書（ホームページからダウンロードできます。）

□オーディオグラム（純音聴力図）（申請日前3カ月以内のもの）

□補聴器の見積書の写し（宛名が対象者のもの）

▼申請・問い合わせ先

健康福祉課 介護高齢室
☎26・2247（直通）

※助成対象となる補聴器は管理医療機器認定を取得した補聴器本体に係る部分に限ります。

▼助成金額

新たに補聴器を購入する場合に要する費用の2分の1（上限25,000円）

●補聴器の使用が必要であると耳鼻咽喉科専門医が判断した人

●両耳の聴力レベルが40デシベル以上の人

●聴力障害による身体障害者手帳の交付が受けられない人

●町内に住所を有し、65歳以上の

人

▼対象（次の全てに該当する）

5月1日[※]

受付開始日

対象（次の全てに該当する）

町内に住所を有し、65歳以上の

人

両耳の聴力レベルが40デシ

ベル以上の人

聴力障害による身体障害者

手帳の交付が受けられない

人

消防団員 募集中!



消防団は、消火活動のみならず、自然災害時における活動など、地域で非常に重要な役割を担っています。そのほかにも、防災訓練や火災対応訓練への参加など、消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしています。

消防団員は全国的に減少傾向にあり、町も例外ではありません。地域の安全・安心を守るため、消防団への入団をご検討ください。興味のある人はお気軽にお問い合わせください。

▶対 象

18歳以上の町内在住者または在勤者

問い合わせ先
総務課 協働安全室
☎26-2243(直通)

ナンバーディスプレイなど 特殊詐欺対策電話機などの購入費を補助します



▼対象 次の全てに該当する人またはその人の属する世帯の世帯員

●申請日時点において町内に住所を有している65歳以上のの人

●特殊詐欺対策電話機や後付けの特殊詐欺電話対策装置などの購入から1年以内であること

●世帯員全員に町税などの滞納がないこと

▼補助金額

購入費の2分の1(1000

円未満切り捨て)で、上限5,000円

▼申請に必要なもの

□申請書(窓口で受け取るか、町ホームページからダウンロードしてください。)

□領収書

□保証書の写し

□通帳など(振込先が分かるもの)の写し

▼申請・問い合わせ先

総務課 協働安全室
☎26・2243(直通)

後付けの装置に限ります

自動車誤発進防止装置設置費補助金



▼対象

満70歳以上で後付けの自動車誤発進防止装置を購入・設置した人で、次の全てに該当する人

●申請日に町に住所を有していること

●自動車運転免許証を保有していること

●町税を滞納していないこと

●誤発進防止装置の購入・設置から1年以内であること

※申請回数は1人につき1回限りです。

▼補助金額

購入および設置にかかる費用の2分の1(1000円未満切り捨て)で、上限2万円

▼申請に必要なもの

□申請書(町ホームページからダウンロードできます。)

□運転免許証の写し

□自動車検査証の写し

□領収書など(購入日および購入額が記載されているもの)

□取扱説明書など(自動車誤発進防止装置の概要が分かるもの)



□装着状況が分かる写真

□補助対象者に町税の滞納がないことを証明するもの

□通帳など(振込先が分かるもの)の写し

▼申請・問い合わせ先

総務課 協働安全室
☎26・2243(直通)

お出かけや通院などにご利用ください

タクシー運賃を助成

通院や外出などでタクシーを利用した際に支払う運賃などの一部を助成します。

▼対象 町に住所を有し、次のいずれかに該当する人

①年齢満70歳以上の人

②年齢満19歳以上で運転免許を持たない人

③身体障害者手帳1・2級（じん臓機能障害者通院交通費の補助利用なし）、精神障害者保健福祉手帳1・2級、療育手帳Aのいずれかの所持者

▼申請に必要なもの

□申請書（町ホームページからダウンロードできます。）

□申請者の本人確認書類

□手帳（対象③に該当する場合のみ）

※即日交付はできません。時間に余裕をもって申請してください。

▼助成内容

1枚500円相当の利用助成券を、年間最大72枚交付します。

※申請日に応じて一括して交付します。

▼利用方法

タクシーに乗車した際の運賃の支払いに、助成券を利用できます。

※助成券の利用は、乗車地・目的地の両方またはいずれかが町内である場合に限ります。

※町と契約を締結したタクシー事業者のみで利用できます。

令和6年度から一度に利用できる枚数が増えました

1人で乗車した場合は4枚まで、助成券所有者が複数人で乗車した場合は1人につき2枚まで一度に利用できるようになります。

介護・福祉タクシーが利用できるようになります

令和6年度から、介護・福祉タクシーが利用できるようになります。事業者と町との契約ができ次第利用可能となります。利用できるタクシー事業者は随時更新されますので町ホームページをご覧ください。どうか、企画室までお問い合わせ

してください。

※介護・福祉タクシーの利用については、事前に予約が必要の場合や、別途、介助料などの料金が請求される場合があります。事業者にご確認の上、ご利用ください。

介護・福祉タクシー事業者の人へ

町との契約を希望する場合は、企画室までお問い合わせください。

※道路運送法第3条第1号ハに規定する一般乗用旅客自動車運送事業または同法第78条第2号および道路運送法施行規則第49条第2号に規定する自家用有償旅客運送を営む事業であることが必要となります。

▼申請・問い合わせ先

企画財政課 企画室
☎26・2241（直通）



堆肥散布にご理解とご協力をお願いします

畜産農家は家畜排せつ物の野積み・索掘りなどは法律で禁止されています。また、適正な管理が義務づけられています。堆肥が野積み状態で放置された場合、悪臭やハエなどが発生し、近隣住民の迷惑になるだけでなく、環境への悪影響が生じる可能性もあります。耕種農家などにおいても、堆肥や家畜のふん尿は適正な管理をしましょう。

堆肥散布は農作物の健全な生育に重要な作業です。町民の皆さまにおかれましても、気象状況などによっては、散布された堆肥の臭いが住宅地などに流れることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 産業観光課 農業振興室 ☎26-2281（直通）